

## 第3章

### 公共施設の実態把握

（施設概要、劣化状況、整備水準、維持管理状況等）

# 1. 実態把握の進め方

## (1) 調査方法、評価方法

計画対象施設 64 施設について、施設管理者が記入した劣化問診票をもとに、建築技術者による目視調査を実施し、調査結果を簡易カルテに整理しました。劣化状況で、技術者再評価でD評価となった部分に色を付けています。

表 評価基準

評価	目視による評価基準
A	概ね良好
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる。
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある。

表 調査の観点

部位	主な調査項目
躯体	➤ 基礎・壁・天井・床・梁・柱
外部仕上げ	➤ 屋根・屋上の仕上げ ➤ 外壁の仕上げ ➤ 外部開口部の仕上げ（アルミサッシ・スチール・木等） ➤ 外部その他（外部階段の有無、屋上手すり等の鉄部）
内部仕上げ	➤ 一般に利用される各部屋、廊下、便所の床・壁・天井の仕上げ ➤ 内部開口部の仕上げ（木・パーテーション・鋼製）
電気設備	➤ 自家発電等特殊電源・受変電機器 ➤ 放送設備（一般放送・非常用のみ） ➤ 防災設備（避雷針、非常コンセント等）
給排水 衛生設備	➤ 給水設備（受水槽、高架水槽、ポンプ） ➤ 給湯設備（中央・局所） ➤ ガス設備 ➤ 消火設備（消火栓、スプリンクラー、連結送水管、その他消火設備等）
空調換気 排煙設備	➤ 冷暖房設備（中央方式・個別エアコン等） ➤ 換気設備
その他設備	➤ 昇降機（エレベーター、小荷物専用昇降機等）
敷地	➤ アプローチ、駐車場・駐輪場、グラウンド、門、フェンス

## 2. 施設類型ごとの実態把握

構造体以外の劣化状況、各施設の既存資料を参考に各施設の課題と改善の方向性を整理します。  
参考にする既存資料を以下に示します。

表 各種資料一覧

	資料名
1	図面（意匠、構造、電気、衛生、空調等）
2	耐震診断評定書
3	国立市市有施設一覧（工事履歴）

図 簡易カルテの見方

施設番号、施設名		施設写真		
1-① 市役所庁舎		令和2(2020)年度		
基本情報	所在地	富士見台2-47-1		
	所管課	総務課		
	用途	本庁舎		
	建築年	昭和52(1977)年	延床面積	8,578㎡
	構造	RC、一部SRC(講堂)	階数	地上3階 地下1階
	耐震性能	耐震診断済・補強済(H24～26)		
	部位別仕様・劣化状況			
	1 屋根・屋上	改質アスファルト防水 ウレシ塗膜防水	劣化状況	防水劣化
	2 外壁	金属系パネル	劣化状況	良好
	3 外部開口部	遮窓 アルミ製サッシ	劣化状況	良好
4 内部	床：ソビド・コンクリート 壁：ガラスブロック 天井：岩綿吸音板	劣化状況	ひび割れ	
5 電気設備	高圧受電 自家発電 蓄電池 自火報	劣化状況	照明器具不良 量正指示有	
6 給水設備	集重水槽方式 瞬間式給湯方式	劣化状況	錆や汚れ等 時々停止する	
7 排水設備	屋内湧火栓 下水連接続	劣化状況	配管腐食有	
8 空調設備	個別＋セントラル方式 冷暖水機、冷却塔	劣化状況	軽微な劣化	
9 その他	乗用EV	劣化状況	安全確保不可	
10 外構	アスファルト舗装 インターロッキング舗装(西側)	劣化状況	良好	
築年数		43		
現況劣化度		24	21	
総合劣化度		52	49	
<p>空調配管にも漏水するなど劣化が見られるため、内部・設備改修の検討をする必要がある。耐震補強等改修工事(平成24(2012)～平成26(2014)年度)</p>				
所見		<p>現地調査による総合所見と近年行われた大規模改修等</p>		

施設写真



令和2(2020)年度

劣化状況写真



屋上  
防水シート劣化

劣化状況写真



内部壁  
ひび割れ

劣化状況写真



機械室  
空調配管の発錆

問診票評価

事前に施設管理者が行った問診票調査の部位別の劣化状況を4段階で評価(a～d)

技術者再評価

建築技術者による現地調査結果を部位別に4段階で評価(A～D)

現況劣化度

部位別に劣化状況をポイント化し、総合計を評価対象部位数(10)で割った値

総合劣化度

現況劣化度に築後年数を合わせた値

ただし、耐震改修を行った建築物はマイナス15を築年評価。(□はマイナス15を示す)

## (1) 庁舎等

### ■ 市役所庁舎の現状と課題

- ・市役所庁舎は昭和 52（1977）年に建設され、築後 48 年経過しています。
- ・現状の市役所庁舎においては、内部仕上げ、給水・給湯設備、熱源設備のボイラー、空調設備の配管に経年による機能低下が見られ適宜修繕・改修工事が求められます。
- ・外部仕上げは平成 24（2012）年度から 26（2014）年度に耐震補強・大規模改修工事が行われており良好です。

### ■ 北庁舎の現状と課題

- ・北庁舎は昭和 55（1980）年に建設され、築後 45 年経過しています。
- ・外部仕上げは令和 5（2023）年度に改修工事が行われており、良好です。
- ・内部や設備に劣化があることから、適宜修繕・改修工事が求められます。

### ■ 棟リスト

表 施設一覧

施設名(棟名)		所在地	建設年	延床面積	構造	階数(地上/地下)	耐震診断	補強の有無
市役所	庁舎	富士見台2-47-1	1977	8,639	RC、一部SRC (議場)	3/1、PH1	済	有
	北庁舎		1980	791	RC	2/1	済	無

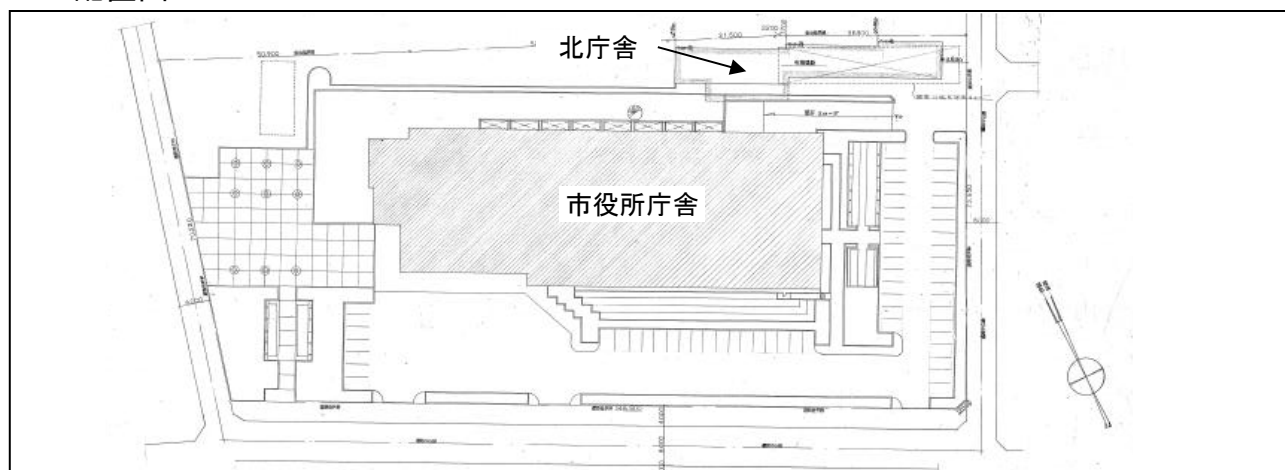


市役所庁舎



北庁舎

### ■ 配置図



## ■ 工事履歴

### ・庁舎

修繕・改修費	1,520,412,356 円 3,667 円/㎡・年
--------	-----------------------------



新建設等



中規模・大規模改修

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
S52	1977	庁舎建設工事	1,335,000,000
S52	1977	市庁舎誘導施設整備工事	2,200,000
S56	1981	教育委員会室間仕切設置工事	1,100,000
S56	1981	国立市庁舎設備機器類塗装工事	520,000
S57	1982	所内電話用蓄電池交換工事	830,000
S58	1983	電算室空調機取替工事	980,000
S59	1984	庁舎冷暖房設備増設工事	3,900,000
S59	1984	庁舎PC笠木・窓台シーリング工事	1,500,000
S60	1985	庁舎外構整備工事	4,150,000
S60	1985	庁舎受電用変圧器取替工事	950,000
S60	1985	庁舎植栽芝整備工事	320,000
S60	1985	庁舎北側非常ラセン階段及び出入りロドアー等の塗装工事	424,000
S60	1985	庁舎市民ロビーシーリング補修工事	264,300
S60	1985	公室冷暖房設備工事	1,350,000
S61	1986	情報公開コーナー等改造工事	2,430,000
S61	1986	庁舎緑石補修工事	850,000
S61	1986	庁舎3階会議室壁面クロス貼替工事	374,480
S61	1986	庁舎受電設備安全改修工事	580,000
S61	1986	庁舎鉄部塗装工事	745,300
S61	1986	庁舎浄化槽排水工事	404,000
S62	1987	冷温水発生機整備	2,700,000
S62	1987	庁舎給水管改修工事	1,200,000
S62	1987	庁舎厨房自動ガスシャ断装置取付工事	242,730
S62	1987	庁舎電算室警報器設置工事	332,500
S62	1987	電算室冷房設備設置工事	980,000
S63	1988	庁舎3階改造工事	6,640,000
S63	1988	議会ロビー壁面クロス張替工事	590,000
S63	1988	庁舎大会議室間仕切設置工事	1,350,000
H1	1989	庁舎非常用蓄電池取替工事	3,708,000
H1	1989	市長室・公室等カーペット貼替工事	2,280,935
H1	1989	委員会室等カーペット貼替工事	1,606,800
H1	1989	庁舎下水道接続工事	6,592,000
H3	1991	平成3年度庁舎内装工事	29,046,000
H2	1990	庁舎第3会議室エアコン取付工事	875,500
H2	1990	端末機接続装置(庁内LAN)設置工事	13,132,500
H2	1990	平成2年度庁舎内装工事	20,291,000

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
H2	1990	庁舎改修工事(防災行政無線室等)	4,995,500
H2	1990	庁舎外部配管等塗装工事	978,500
H3	1991	庁舎3階会議室等エアコン取付工事	3,883,100
H3	1991	庁舎自家発電機冷却水タンク取替工事	1,287,500
H3	1991	庁舎植栽等整備工事	2,472,000
H4	1992	庁舎3階事務室・詰所改修工事	1,617,100
H4	1992	平成4年度庁舎内装工事	18,025,000
H4	1992	庁舎冷温水発生機整備工事	5,407,500
H4	1992	庁舎冷却塔改修工事	4,017,000
H4	1992	市庁委員会室間仕切工事	618,000
H4	1992	庁舎身障者用トイレ改修工事	4,995,500
H4	1992	庁舎水道管布設替工事	4,944,000
H5	1993	庁舎火災報知設備副受信盤等設置工事	824,000
H5	1993	庁舎非常用自家発電装置整備工事	2,420,500
H6	1994	庁舎電算機無停電装置設置工事(その1)	12,360,000
H6	1994	庁舎雑排水ポンプ交換工事	2,781,000
H6	1994	庁舎空調機(AC-1)フィルター取替工事	508,305
H6	1994	庁舎1階西側女子便所改修工事	247,200
H7	1995	庁舎高圧ケーブル取替工事	2,729,500
H7	1995	庁舎玄関自動扉開閉装置取替工事	1,225,700
H7	1995	国立市防災行政無線設置工事	28,029,765
H8	1996	庁舎冷温水発生機・整備工事	2,832,500
H8	1996	庁舎操作・非常用蓄電池取替工事	4,583,500
H8	1996	国立市防災行政無線設置工事	8,014,938
H8	1996	庁舎3階ブラインド修理	438,651
H8	1996	庁舎1階市民ロビーパーカールブラインド修理	499,344
H9	1997	庁舎冷温水機発生機用冷却塔制御系統電動三方弁取替工事	1,680,000
H9	1997	庁舎雨水ポンプ取替工事	1,575,000
H9	1997	国立市防災行政無線設置工事	9,922,072
H11	1999	国立市防災行政無線機用バッテリー交換修繕	966,000
H11	1999	庁舎空調用冷却水ポンプ等取替工事	1,417,500
H11	1999	国立市防災行政無線設置工事	6,825,000
H12	2000	国立市防災行政無線機用バッテリー交換修繕	1,050,000
H12	2000	公聴相談コーナーパーテーション補修	357,000
H12	2000	国立市防災行政無線機設置工事	11,024,297
H12	2000	庁舎東側階段床修繕	325,500

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
H12	2000	庁舎2階底雨漏修繕	126,000
H12	2000	庁舎地下汚水排水ポンプNo.2交換修繕	539,700
H12	2000	庁舎ガラス面飛散防止フィルム貼り工事	997,500
H13	2001	国立市防災行政無線機用バッテリー交換修繕	947,100
H13	2001	国立市防災行政無線設置工事	4,829,600
H13	2001	庁舎(東側外部出入口及び内部出入口自動ドア設置)改修工事	2,940,000
H13	2001	玄関自動ドア取替修繕	630,000
H13	2001	庁舎(点字ブロック・庇等設置)改修工事	1,680,000
H14	2002	男子トイレ(3階)洗面器等交換修繕	493,500
H14	2002	庁舎冷暖房用エアフィルタ交換修繕	617,400
H14	2002	庁舎昇降機(エレベーター)改修工事	5,985,000
H14	2002	公共LAN基盤整備工事(第1期)	22,260,000
H14	2002	電算機室公共LAN電源設備工事	878,850
H14	2002	庁舎空調設備改修工事	35,070,000
H14	2002	庁舎1階(西側外内出入口自動ドア設置)改修工事	3,150,000
H14	2002	公共LAN基盤整備工事(第2期)	53,812,500
H14	2002	庁舎電気室トランス交換工事	2,730,000
H15	2003	国立市庁舎改修(喫煙室整備)工事	4,588,500
H15	2003	国立市防災行政無線機用バッテリー交換修繕	577,500
H15	2003	庁舎非常放送設備交換工事	1,890,000
H15	2003	庁舎蓄電池直流電源装置(整流器)取替工事	4,725,000
H15	2003	電算室の電源増設工事	777,000
H16	2004	警備員室エアコン交換修繕	113,400
H16	2004	国立市防災行政無線機用バッテリー及びアンテナ交換修繕	1,155,000
H16	2004	本会議場照明器具(トランス・ランプ)交換工事	1,785,000
H16	2004	庁舎電気室コンデンサ保護装置増設修繕	412,440
H16	2004	庁舎非常用蓄電池取替工事	5,523,000
H16	2004	ファンコイルユニット交換工事	1,155,000
H16	2004	庁舎高架水槽補修修繕	294,000
H16	2004	庁舎冷暖房用エアフィルタ交換修繕	630,000
H16	2004	庁舎東側階段手摺・西側傍聴席階段手摺取付工事	189,000
H17	2005	庁舎電算機室空調機改修工事	871,500
H17	2005	国立市防災行政無線機用バッテリー及びアンテナ交換修繕移設	1,332,450
H17	2005	ファンコイルユニット改修工事	1,449,000
H17	2005	地下厨房用排水ポンプ交換修繕	388,500
H17	2005	庁舎冷暖房用エアフィルター交換修繕	498,750
H17	2005	庁舎屋外照明灯設備等改修工事	1,890,000
H17	2005	庁舎屋外照明灯設備改修工事(その2)	1,008,000
H17	2005	公害測定室、南、西側壁改修修繕	273,000
H18	2006	庁舎冷却塔改修工事	11,193,000
H18	2006	庁舎エレベーター自動復帰式地震時管制運転装置設置工事	966,000
H18	2006	庁舎地下冷温水循環ポンプ交換改修工事	3,780,000
H18	2006	国立市防災行政無線屋外子局移設修繕	2,205,000
H18	2006	国立市防災行政無線機用バッテリー及びアンテナ交換修繕移設	1,997,100
H18	2006	公共LAN拡張配線工事	1,155,000

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
H18	2006	庁舎空調機エアフィルター交換修繕	491,400
H18	2006	ウィルスチェックネットワークの更新作業(庁舎)	367,500
H18	2006	計測震度計更新修繕	4,305,000
H18	2006	庁舎ファンコイルユニット改修工事	1,680,000
H19	2007	国立市庁舎議員控室間仕切修繕工事	1,260,000
H19	2007	庁舎ファンコイルユニット改修工事	2,572,500
H19	2007	国立市防災行政無線機修繕	2,145,360
H19	2007	庁舎正面玄関自動ドア設備改修工事	892,500
H19	2007	庁舎南側雨水排水設備改修工事	1,984,500
H19	2007	庁舎自動火災設備改修工事	1,732,500
H20	2008	ネットワーク拡張等工事	2,205,000
H20	2008	国立市防災行政無線修繕	2,121,000
H20	2008	庁舎空調機改修工事	2,163,000
H20	2008	庁舎ファンコイルユニット改修工事	998,500
H20	2008	庁舎高圧動力盤遮断器等の修繕	1,260,000
H21	2009	国立市防災行政無線修繕	782,250
H21	2009	庁舎冷水発生機溶液ポンプ交換修繕	504,000
H21	2009	庁舎ファンコイルユニット改修工事	1,774,500
H22	2010	国立市庁舎太陽光発電パネル及び急速充電器設置工事	17,377,500
H22	2010	J-ALERTシステム設置工事	9,345,000
H22	2010	市庁舎窓ガラス日射調整フィルム貼付工事	1,207,500
H22	2010	庁舎地階駐車場汚水ポンプ(No. 1)交換修繕	598,500
H23	2011	国立市庁舎地上デジタルテレビ放送用設備導入等工事	1,470,000
H23	2011	国立市庁舎窓ガラス日射遮蔽フィルム貼付等工事(第二期)	6,174,000
H23	2011	庁舎トイレ等内壁タイル貼替修繕	493,500
H23	2011	市庁舎議員控室間取り変更修繕	997,500
H23	2011	庁舎照明器具点灯回路変更修繕	945,000
H23	2011	国立市庁舎旧収入役室改修工事	10,416,000
H23	2011	国立市庁舎トイレ便器取替修繕	472,500
H24	2012	国立市防災行政無線固定系バッテリー交換修繕	843,885
H24	2012	東京都防災行政無線設備移設工事(国立市役所局)	525,000
H24	2012	国立市防災行政無線固定系バッテリー交換修繕	388,500
H24	2012	市庁舎電算機室エアコン増設工事	1,155,000
H24	2012	国立市庁舎ファンコイルユニット更新工事	5,775,000
H24	2012	平成24年度庁舎消防設備修繕	472,500
H24	2012	市庁舎トイレ便器洋式化修繕24-2	819,000
H25	2013	国立市庁舎非常用自家発電設備更新工事	83,475,000
H25	2013	国立市防災行政無線固定系バッテリー交換修繕	621,600
H25	2013	庁舎教育長室個別エアコン電源修繕	1,149,750
H25	2013	庁舎3階西・地階女子トイレ便器洋式化修繕	924,000
H24～ H26	2012～ 2014	国立市庁舎耐震補強等改修工事	550,114,200
H29	2017	国立市庁舎受変電設備等更新工事	228,458,880
R01	2019	庁舎公衆喫煙所設置工事	8,800,000
R04	2022	国立市庁舎冷水発生機改修工事	96,326,224

## ■ 工事履歴

### ・ 北庁舎

修繕・改修費	計 42,742,000 円 1201 円/㎡・年
--------	---------------------------



新建設等




中規模・大規模改修

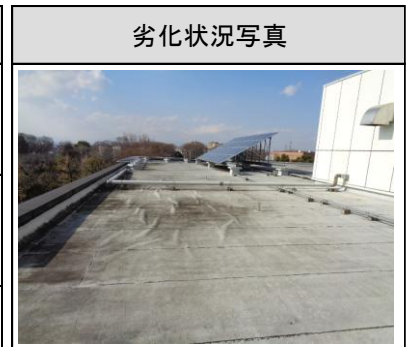
年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
S54	1979	国立市庁舎倉庫設置工事	104,500,000
H2	1990	庁舎倉庫改修工事(その1)	3,347,500
H2	1990	庁舎倉庫改修工事(防災行政無線室等)	4,995,500
H5	1993	選挙管理委員会事務室床改修工事	669,500
H18	2006	市有施設アスベスト対策工事(その1)(庁舎倉庫)	3,234,000
H23	2011	北庁舎主要居室改修等修繕	6,688,500
H28	2016	北庁舎屋上防水工事	7,560,000
R5	2023	北庁舎外壁等改修工事	16,247,000



1-①	市役所庁舎
-----	-------

令和7(2025)年度

基本情報	所在地	富士見台2-47-1					
	所管課	総務課					
	用途	本庁舎					
	建築年	昭和52(1977)年	延床面積	8,639㎡			
	構造	RC、一部SRC(議場)	階数	地上3階 地下1階			
	耐震性能	耐震診断済・補強済(H24～26)					
部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票評価	技術者再評価	<div>劣化状況写真</div> <div><p>屋上 防水シート劣化</p><div><p>男子ロッカー室 天井破損</p><div><p>機械室 空調配管の発錆</p></div></div></div>	
	1 屋根・屋上	改質アスファルトシート防水 ウレタン塗膜防水	防水劣化・亀裂 シート剥離 雨漏れ	d	C		
	2 外壁	金属系パネル	爆裂 手すり発錆	b	B		
	3 外部開口部	連窓 アルミ製サッシ	戸車不良で開閉不可有	b	B		
	4 内部	床:ソフビニースタイル 壁:「プラスターボード」 天井:岩綿吸音板	ひび割れ	c	C		
	5 電気設備	高圧受電 自家発電 蓄電池 自火報	良好	b	A		
	6 給水設備	高置水槽方式 瞬間式給湯方式 屋内消火栓	錆や汚れ等有 時々停止する 配管劣化	c	C		
	7 排水設備	下水道接続 多目的便所 洋便 和便	配管腐食 排水不良	d	D		
	8 空調設備	個別＋セントラル方式 冷温水機、冷却塔	配管腐食	c	C		
	9 その他	乗用EV	安全担保不可	d	D		
	10 外構	アスファルト舗装 インターロッキング舗装(西側)	良好	a	A		
	築年数		48	現況劣化度	40		35
				総合劣化度	73		68
	所見	設備配管や防水に劣化が見られるため、改修の検討をする必要がある。耐震補強等改修工事(平成24(2012)～平成26(2014)年度)					



屋上  
防水シート劣化



男子ロッカー室  
天井破損



機械室  
空調配管の発錆



1-②	北庁舎
-----	-----

令和7(2025)年度

基本情報	所在地	富士見台2-47-1		
	所管課	総務課		
	用途	本庁舎		
	建築年	昭和55(1980)年	延床面積	791㎡
	構造	RC	階数	地上2階 地下1階
	耐震性能	耐震診断済・補強無し		



部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票評価	技術者再評価
	1 屋根・屋上	ウレタン塗膜防水	良好	a	A
	2 外壁	複層塗材(吹付)	良好	a	A
	3 外部開口部	連窓 アルミ製サッシ	良好	a	A
	4 内部	床:Pタイル 壁:モルタル 天井:モルタル 開口部:フラッシュ戸	白華・ひび割れ	b	B
	5 電気設備	自火報	軽微な劣化	b	C
	6 給水設備	瞬間式給湯器 屋内消火栓	配管劣化	c	B
	7 排水設備	下水道接続 和便 雨水利用タンク	軽微な劣化	b	B
	8 空調設備	パッケージ方式	変質(さび)	b	C
	9 その他			—	—
	10 外構	アスファルト舗装	土砂、ゴミ有 排水不良	b	B
築年数		45	現況劣化度	16	19
			総合劣化度	61	64

劣化状況写真
 屋上 良好
 内壁 ひび割れ
 内壁 ひび割れ

所見	内壁にひび割れ等一部劣化は見られるが、令和5(2023)年度外壁改修を行い良好な状態。屋上防水工事(平成28(2016)年度)
----	---

## (2) 消防施設

### ■ 消防施設の現状と課題

- 消防団第一～第四分団器具置場は、昭和 56（1981）年から 62（1987）年にかけて建設されており、RC 造 2 階建ての施設です。なお、これまで規模が小さかった消防団第五、第六分団器具置場は、それぞれ平成 30（2018）年と 27（2015）年に移転し、鉄骨造の建物になりました。
- 市民利用の少ない建物であるため、これまで修繕工事等は行われておりませんでした。平成 23（2011）年以降に、第一～第三分団器具置場で外壁の改修が実施されました。

### ■ 棟リスト

表 施設一覧

施設名(棟名)	所在地	建設年	延床面積	構造	階数(地上/地下)	耐震診断	補強の有無
消防団第一分団器具置場	青柳2-8-60	1987	79	RC	2/0	—	—
消防団第二分団器具置場	谷保6208-3	1984	80	RC	2/0	—	—
消防団第三分団器具置場	谷保5913-1	1985	79	RC	2/0	—	—
消防団第四分団器具置場	谷保5112-4	1981	76	RC	2/0	済	無
消防団第五分団器具置場	東3-7-1	2019	88	S	2/0	—	—
消防団第六分団器具置場	北2-38-6	2015	68	S	1/0	—	—

### ■ 工事履歴

#### ・ 消防団第一分団器具置場

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
S62	1987	国立市消防団第一分団器具置場建設工事	24,800,000
H23	2011	消防団第一分団器具置場外壁塗装修繕（技術協力）	2,341,500

#### ・ 消防団第二分団器具置場

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
S59	1984	国立市消防団第二分団器具置場建設工事	18,377,000
H5	1993	国立市消防団第二分団下水道接続工事	1,390,500
H28	2016	国立市消防団第二及び第三分団消防器具置場外壁等改修工事	8,167,070

#### ・ 消防団第三分団器具置場

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
S60	1985	国立市消防団第三分団器具置場建設工事	18,600,000
H5	1993	国立市消防団第三分団下水道接続工事	1,545,000
H28	2016	国立市消防団第二及び第三分団消防器具置場外壁等改修工事	8,302,930

#### ・ 消防団第四分団器具置場

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
S55	1980	国立市消防団器具置場建設工事	12,920,000
H4	1992	国立市消防団第四分団外壁塗装修繕	2,678,000
H6	1994	国立市消防団第四分団下水道接続工事	1,545,000
R1	2019	市有施設コンクリートブロック塀対策工事	2,904,000
R4	2022	国立市消防団第四分団消防器具置場等鉄部塗装修繕	821,700

#### ・ 消防団第五分団器具置場

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
H30	2018	国立市消防団第五分団消防器具置場新築工事	68,894,388

#### ・ 消防団第六分団器具置場

年度 (和暦)	年度 (西暦)	工事名称	金額(円)
H27	2015	国立市消防団第六分団消防器具置場新築工事	46,170,000

2	消防団第一分団器具置場
---	-------------

令和7(2025)年度

基本情報	所在地	青柳2-8-60		
	所管課	防災安全課		
	用途	消防施設		
	建築年	昭和62(1987)年	延床面積	79m <sup>2</sup>
	構造	RC	階数	地上2階
	耐震性能	新耐震		



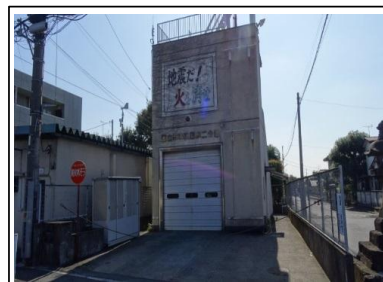
部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票評価	技術者再評価	劣化状況写真
	1 屋根・屋上	ウレタン防水	鉄部に発錆	b	C	 屋上 土砂堆積による 排水不良
	2 外壁	複層塗材(吹付)	軽微な劣化	a	B	
	3 外部開口部	連窓 アルミ製サッシ	良好	a	A	 屋上鉄部 発錆
	4 内部	床:コンクリート金ゴテ 壁:モルタル金ゴテ 天井:パーライト吹付	エフロレッセンス ひび割れ	c	B	
	5 電気設備	一般機器	軽微な劣化	a	B	 車庫 内部壁 エフロレッセンス
	6 給水設備	水道直結方式 瞬間式給湯器	軽微な劣化	a	B	
	7 排水設備	下水道接続 洋便	軽微な劣化	a	B	
	8 空調設備	個別パッケージ方式	軽微な劣化	a	B	
	9 その他			—	—	
	10 外構	アスファルト舗装	良好	a	A	
築年数		38	現況劣化度	10	23	
			総合劣化度	48	61	

所見	屋上の排水不良や鉄部の発錆等軽微な不良がある。
----	-------------------------

3	消防団第二分団器具置場
---	-------------

令和7(2025)年度

基本情報	所在地	谷保6208-3		
	所管課	防災安全課		
	用途	消防施設		
	建築年	昭和59(1984)年	延床面積	80m <sup>2</sup>
	構造	RC	階数	地上2階
	耐震性能	新耐震		

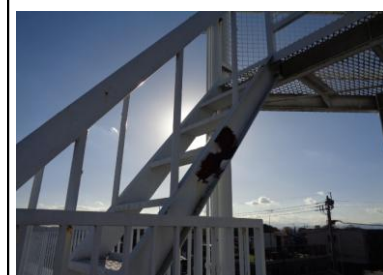


部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票評価	技術者再評価
	1 屋根・屋上	ウレタン防水	階段、手すり発錆	b	B
	2 外壁	複層塗材(吹付)	良好	a	A
	3 外部開口部	連窓 アルミ製サッシ スチールドア	軽微な劣化	a	A
	4 内部	床:コンクリート金ゴテ 壁:モルタル金ゴテ 天井:パーライト吹付	ひび割れ	c	B
	5 電気設備	一般機器	軽微な劣化	a	B
	6 給水設備	水道直結方式 瞬間式給湯器 防火水槽	軽微な劣化 立水栓破損	a	B
	7 排水設備	下水道接続 和便 洋便	軽微な劣化	a	B
	8 空調設備	個別パッケージ方式	軽微な劣化	a	B
	9 その他			—	—
	10 外構	アスファルト舗装	軽微な劣化 フェンス基礎部劣化	a	B
築年数		41	現況劣化度	10	18
			総合劣化度	51	59

劣化状況写真



屋上  
排水不良



階段  
発錆



天井  
ひび

所見	屋上の排水不良や鉄部に軽微な発錆はあるが、平成28(2016)年度に外壁・防水改修工事を行っているため、全体的に良好な状態である。
----	---

4	消防団第三分団器具置場
---	-------------

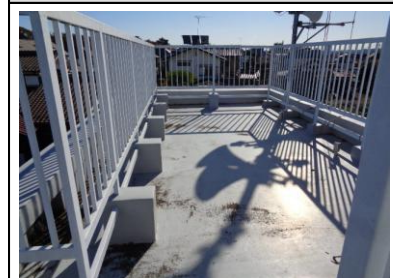
令和7(2025)年度

基本情報	所在地	谷保5913-1		
	所管課	防災安全課		
	用途	消防施設		
	建築年	昭和60(1985)年	延床面積	79m <sup>2</sup>
	構造	RC	階数	地上2階
	耐震性能	新耐震		



部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票評価	技術者再評価
	1 屋根・屋上	ウレタン防水	良好	a	A
	2 外壁	複層塗材(吹付)	軽微な劣化	a	B
	3 外部開口部	連窓 アルミ製サッシ	発錆	a	B
	4 内部	床:コンクリート金ゴテ 壁:モルタル金ゴテ 天井:パーライト吹付	ひび割れ	a	B
	5 電気設備	一般機器	軽微な劣化	a	B
	6 給水設備	水道直結方式 瞬間式給湯器	軽微な劣化	a	B
	7 排水設備	防火水槽 下水道接続 洋便	軽微な劣化	b	B
	8 空調設備	個別パッケージ方式	軽微な劣化	a	B
	9 その他			—	—
	10 外構	アスファルト舗装	ひび割れ	c	B
築年数		40	現況劣化度	9	19
			総合劣化度	49	59

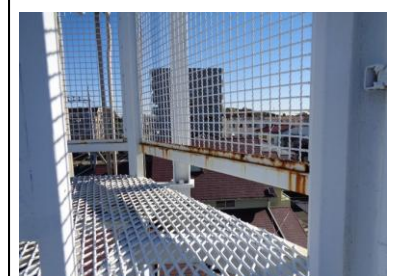
劣化状況写真



屋上  
良好



外部スチールドア  
発錆



フェンス  
発錆

所見	鉄部に多少錆が見られるが、全体的に良好な状態である。外壁防水改修工事(平成28(2016)年度)
----	--



5	消防団第四分団器具置場
---	-------------

令和7(2025)年度

基本情報	所在地	谷保5112-4		
	所管課	防災安全課		
	用途	消防施設		
	建築年	昭和56(1981)年	延床面積	76㎡
	構造	RC	階数	地上2階
	耐震性能	耐震診断済・補強無し		



部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票評価	技術者再評価
	1 屋根・屋上	ウレタン防水	発錆	a	B
	2 外壁	複層塗材(吹付)	ひび割れ 塗膜剥離	b	C
	3 外部開口部	単窓(ボツ窓) アルミ製サッシ	軽微な劣化	a	B
	4 内部	床:コンクリート金ゴテ 壁:モルタル金ゴテ 天井:打放し	ひび割れ	c	B
	5 電気設備	一般機器 自火報	軽微な劣化	a	B
	6 給水設備	水道直結方式 瞬間式給湯器 防火水槽	軽微な劣化	a	B
	7 排水設備	下水道接続 洋便	軽微な劣化	a	B
	8 空調設備	個別パッケージ方式	軽微な劣化	a	B
	9 その他			—	—
	10 外構	アスファルト舗装	軽微な劣化	a	B
築年数		44	現況劣化度	10	25
			総合劣化度	54	69

劣化状況写真



階段  
上裏塗膜剥離



屋上  
鉄部発錆



内壁  
ひび割れ

所見	鉄部塗装の修繕等を行い全体的に良好な状態であるが、上裏等の部分的劣化が見られる。 令和7(2025)年度 外壁・屋上防水改修工事予定。
----	--

6	消防団第五分団器具置場
---	-------------

令和7(2025)年度

基本情報	所在地	東3-7-1		
	所管課	防災安全課		
	用途	消防施設		
	建築年度	平成31(2019)年	延床面積	88m <sup>2</sup>
	構造	S	階数	地上2階 地下0階
	耐震性能	新耐震		



部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票評価	技術者再評価
	1 屋根・屋上	ウレタン塗膜防水	良好	a	A
	2 外壁	ガルバリウム化粧合板	良好	a	A
	3 外部開口部	アルミ製サッシ	良好	a	A
	4 内部	床:土間スラブ金コテ押さえ、ビニル床 壁:ケイ酸カルシウム板張り、ビニルクロス 天井:デッキプレート表し・化粧石膏ボード	良好	a	A
	5 電気設備	低圧受電	良好	a	A
	6 給水設備	水道直結方式	良好	a	A
	7 排水設備	下水道接続 洋便	良好	a	A
	8 空調設備	個別パッケージ方式	良好	a	A
	9 その他	なし		—	—
	10 外構	コンクリート舗装 アスファルト舗装	良好	a	A
築年数		6	現況劣化度	6	6
			総合劣化度	12	12

劣化状況写真
 外壁 良好
 防水 良好
 鉄部 良好

所見	全体的に劣化も少なく、良好である。
----	-------------------



7	消防団第六分団器具置場
---	-------------

令和7(2025)年度

基本情報	所在地	北2-38-6		
	所管課	防災安全課		
	用途	消防施設		
	建築年度	2015 年度	延床面積	68m <sup>2</sup>
	構造	S	階 数	地上1階 地下0階
	耐震性能	新耐震		



部位別仕様・劣化状況	部位	仕様	劣化状況	問診票 評価	技術者 再評価
	1 屋根・屋上	ウレタン塗膜防水	良好	a	A
	2 外壁	ガルバリウム化粧合板	良好	a	A
	3 外部開口部	アルミ製サッシ	良好	a	A
	4 内部	床:土間スラフ 金コブ下地エポキシ樹脂系塗床材、壁:ケイ酸カルシウム板張り、ビニルクロス 天井:ケイ酸カルシウム板張り、化粧石膏ボード	良好	a	A
	5 電気設備	低圧受電	良好	a	A
	6 給水設備	水道直結方式	良好	a	A
	7 排水設備	下水道接続 洋便	良好	a	A
	8 空調設備	個別パッケージ方式	良好	a	A
	9 その他	なし		—	—
	10 外構	アスファルト舗装	良好	a	A
築年数		10	現況劣化度	6	6
			総合劣化度	16	16

劣化状況写真
 外壁 良好
 基礎 ヘアクラック
 外壁 良好

所見	全体的に劣化も少なく、良好である。
----	-------------------